

# 令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 北九州文化学園 第二文化幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- 心も体も健康で、たくましく粘り強い子に育てる。
- 自立心や協調性を育て、思いやりや善悪の判断が出来る子に育てる。
- 言葉への興味・関心を育て、自分の思いを話したり、人の話が聞けたりする子に育てる。
- 自然など身近なものへの興味や関心を育て、豊かな心、考える力を持った子に育てる。
- 体験を通して、感性に富み、創造性豊かな子に育てる

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・昨年度に引き続き、短大卒1名を採用した。一日も早く環境に慣れ、クラス差が生じないよう全職員がカバー・サポートし、チーム保育を心掛ける。また、キャリアパスに応じて積極的に研修を受け、保育に生かす。
- ・保護者会と連携し、保育内容の理解を深める。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
職員間の連携	C	ベテランと若年の先生を組み合わせた学年配置を行ったことで、各学年が連携・協力して保育にあたることができた。ただ、ベテランの先生の指導が若年の先生にうまく伝わらず時間を要す場面もあった。
研修	A	キャリアパスに応じた研修を積極的に受講することができた。
保護者との連携	B	保護者会と連携した行事を実施し、保育の状況を周知することができた。また、ハグノートアプリを通して、日々の保育内容を詳しく配信した。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	教職員のキャリアパスを明確にすることで、積極的にキャリアに応じた研修を受講することができた。また、研修で学んだことを実際に保育に生かすこともできていた。若年の先生への指導力向上は継続的な課題として今後も取り組む必要がある。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
研修	・全体を見渡せる主幹教諭（フリー）を配置し、若年教諭の指導やフォロー等にあてる。
職員間連携	・来年度、産育休を予定している正規教員がいる。全職員でフォローするとともに、これからの同様の状況が予想されることから、チーム保育を徹底する風土を醸成し、園児・保護者からの信頼を欠かないよう連携を深めていきたい。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・ hug ノート（アプリ）の連絡がきめ細かでありがたいが、先生方の負担であれば写真だけや一言だけの日があってもよい。
- ・ 行事も縮小することなく熱心に行ってくれている。
- ・ 若い先生方が増えてきているが、ベテランの先生方の動き方や指導の仕方を見習って育ってほしい。
- ・ 限られた駐車場ででの入れ替わりがスムーズになるよう、園からも保護者に促してほしい。

学校関係者評価委員  
学校関係者評価委員  
学校関係者評価委員  
学校関係者評価委員  
学校関係者評価委員

委員会実施日 令和 8 年 3 月 5 日